

特設クラブ運営計画

1 目標

- (1) 児童一人ひとりに興味・関心のある活動に親しませ、心身の健全な育成を図る。
- (2) お互いに協力し合って練習させることにより、集団の一員としての自覚を高める。
- (3) 他校児童との交流を図る。

2 運営について

- (1) 対象学年児童全員及び担当教師によって運営する。
- (2) 運動用具や楽器は担当者が責任を持って管理する。
- (3) 課外練習の際の自分の持ち物は決められた場所に置くようにする。
- (4) 活動後は、後始末をして安全にすみやかに下校する。

< 運動関係 >

1 方針

- (1) 児童の体力・運動能力に応じた練習内容、方法を考慮し、実践する。
- (2) フェアプレーの精神や正しいマナーを身につける。

2 実践内容

種 目	陸 上
対象学年	5年生以上
練習期間	9～10月
大会時期	いわせ地区陸上交流大会 10月上旬

※ 練習時間は原則として放課後（月～金）とし、詳しくは練習計画による。

※ 原則として水曜日は休養日

3 その他

- (1) 担当者は、勝利至上主義に陥ることなく児童の体力など、その発達段階を十分に踏まえた指導に努める。
- (2) 大会・練習参加の前に、「承諾書」を取る。出場選手については、選抜とする。
- (3) PTAボランティアの協力を得て指導にあたる。
- (4) 陸上大会の際は、以下の内容を音体後援会・該当学年保護者（5・6年）に協力を依頼する。

①大会当日のテント搬入・設営

- ・テント運搬車1台（音体後援会長に依頼）
- ・テント設営2張（設営には6名必要・・・引率教員2名+PTA4名）

②「駐車場係」（1名）→ PTA会長に依頼

※該当学年の保護者、音体後援会長・PTA会長には、事前に協力依頼の文書を出し、協力可能な保護者を把握しておく。

< 音楽関係 >

【合奏】

(1) 方針

- ①様々な分野の音楽活動を総合的に行うことによって、音楽的な教養・技能を高めるような指導を行う。
- ②日頃、あまりふれることのない楽器や曲にふれることにより、音楽への関心を高める。

(2) 実践内容

- ①対象学年 3・4年生全員
- ②練習時期 年度当初～10月→月～金の放課後（原則として水曜日は休養日）及び授業（曲選定～発表まで）
- ③発表時期 地区音楽祭（9月末）

(3) 音楽祭の際は、以下の内容を該当学年保護者・音体後援会に協力を依頼する。

○楽器運搬・会場への搬入

※該当学年の保護者に、事前に協力依頼の文書を出し、協力可能な保護者を把握しておく。

【鼓笛】

(1) 目標

- ①鼓笛の練習や演奏を通して児童の心身の発達を図る。
- ②音楽・体育の総合的な発表の場とし、表現力を高める。

(2) 方針

- 児童が主体的に練習に取り組めるように配慮し、全職員で指導にあたる。

(3) 指導内容

①編成学年・・・全学年

1・2年生	3・4年生	5・6年生
ポンポン	鍵盤ハーモニカ	総指揮・副指揮・大太鼓・中太鼓・小太鼓・シンバル・ベルリラ・マーチングキーボード

②活動（練習計画の詳細は、鼓笛担当より提案）

- 運動会・・・・・・・・・・・・・・・・・・5月（4・5月に練習）
- 須賀川市交通安全鼓笛パレード・・・・5月（直前に学校周辺道路で練習）
- 6年生を送る会（鼓笛引き継ぎ）・・・・3月（12月～2月）

③その他

- 曲名は「校歌」「ドレミの歌」「ドラムマーチ」とし、必要に応じて変更できる。
- 曲については、実態に応じて検討する。
- 鼓笛引き継ぎ（3月：6年生を送る会）の演奏曲は、「校歌」「ドレミの歌」「ドラムマーチ」とする。
- 鼓笛主任は、練習開始の前に、楽譜を児童と担当者に配付する。